Kurume College		ollege	Year 2022		Course Title				
Course	Informa	tion							
		4MR32			Course Category	General ,	General / Compulsory		
Class Format		Lecture	Lecture			School C	School Credit: 1		
Department			Department of Materials System Engineering			4th	4th		
Term		Second Se	Second Semester			k 2	2		
Textbook Teaching	and/or Materials								
Instructo	r	沖田 匡聡							
Course	Objectiv	es							
集合・位権	相といった概	記念を理解でき	様々な問題を解く	くことができる。					
Rubric									
			理想的な到達レベルの目安標準値		標準的な到達レベ	は到達レベルの目安 未到達レベルの目安			
評価項目1			行列のジョルダン標準形の計算ができる.		行列のジョルダン標準形について 理解できる.		行列のジョルダン標準形について 理解できていない.		
評価項目2	2		線形空間について様々な概念が理解できている.		線形空間について理解できる.		線形空間についい.	て理解できていな	
評価項目3	3								
Assiane	ed Depar	tment Obje	ectives						
	ng Metho								
Outline	.5		 ルダン標準形何か						
Style					 など、この授業に積	極的に参加する			
		・再試験は							
	teristics (諸注意:授	業時に示す課題に Pivision in Lea	こついてレボートを arning	I	Remote Class	☐ Instructor I	Professionally	
□ Active	e Learning	諸注意:授	業時に示す課題に	こついてレボートを arning	要十分条件である. 作成すること. ☑ Applicable to	Remote Class	☐ Instructor I Experienced	Professionally	
	e Learning	諸注意:授 of Class / D	業時に示す課題に Division in Le. □ Aided by IC	こついてレボートを arning	作成すること. ☑ Applicable to			Professionally	
□ Active	e Learning	諸注意:授 of Class / C	業時に示す課題に Division in Lea □ Aided by IC Dieme	こついてレボートを arning	作成すること. ☑ Applicable to	Remote Class Goals		Professionally	
□ Active	e Learning	諸注意:授 of Class / C Th 1st ガ	業時に示す課題に Division in Lea □ Aided by IC □ Aided by IC □ Aided by IC	こついてレボートを arning	作成すること. ☑ Applicable to	Goals	Experienced	Professionally	
□ Active	e Learning	諸注意:授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集	業時に示す課題に Division in Lea □ Aided by IC □ Aided by IC □ Aided by IC □ Aided by IC	こついてレボートを arning	作成すること. ☑ Applicable to ☐ G	Goals 長合の定義が理解	Experienced	Professionally	
□ Active	Plan	諸注意:授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写	業時に示す課題に Division in Lea □ Aided by IC Heme イダンス 合論 像	こついてレボートを arning	作成すること. ② Applicable to G	Goals 集合の定義が理角 単射、全射等を理	Experienced 『できる. 理解する.	Professionally	
□ Active	Plan 3rd	諸注意:授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線	業時に示す課題に Division in Lea Aided by IC Aided by IC Meme イダンス 合論 像 形空間	こついてレボートを arning	作成すること. ② Applicable to ③ Applicable to ⑤ は	Goals 集合の定義が理角 単射、全射等を理 象形空間の定義を	Experienced 『できる. 理解する. ご理解する	Professionally	
□ Active	Plan	諸注意:授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写	業時に示す課題に Division in Lea Aided by IC □ Aided by IC □ Aided by IC □ Aided by IC	こついてレボートを arning	作成すること。 ☑ Applicable to	Goals 長合の定義が理角 単射、全射等を理 泉形空間の定義を 逆像、逆写像を理	Experienced 『できる. 理解する. 理解する.	Professionally	
□ Active	Plan 3rd	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部	業時に示す課題に Division in Lea Aided by IC ■ Aided by IC	こついてレボートを arning	作成すること、 ② Applicable to G g H 総 が は の の の の の の の の の の の の	Goals 集合の定義が理解 単射、全射等を理 泉形空間の定義を 逆像、逆写像を理 の分空間定義が理	Experienced Fできる。 E解する。 E解する。 E解する。 E解する。 E解する。		
□ Active	Plan 3rd	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部 7th 線	業時に示す課題に Division in Lea Aided by IC Aided by IC Division in Lea	こついてレボートを arning	作成すること、 ② Applicable to ③ G 9 4 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	Goals 集合の定義が理解 単射、全射等を理 泉形空間の定義を 連像、逆写像を理 部分空間定義が理 泉形空間の基底と	Experienced 『できる. 理解する. 理解する. 理解する. 理解する. 理解できる.		
□ Active	Plan 3rd Quarter	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部 7th 線 8th 線	業時に示す課題に Division in Lea □ Aided by IC	こついてレボートを arning	作成すること。 ② Applicable to ③ Applicable to ⑤ Applicable to	Goals 集合の定義が理解 対射、全射等を理 泉形空間の定義を理 が必要間定義が理 泉形空間の基底と 泉形空間の基底と	Experienced Experienced 		
□ Active	Plan 3rd Quarter	諸注意: 授 of Class / C	業時に示す課題に Division in Lea Di	こついてレボートを arning	作成すること。 ② Applicable to ③ 4 § 4 ※ Applicable to G 5 Applicable to	を	Experienced	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
□ Active	Plan 3rd Quarter	諸注意: 授送 of Class / C	業時に示す課題に Division in Lea	こついてレボートを arning	作成すること。 ② Applicable to ③ Applicable to ⑤ Applicable to	Soals 集合の定義が理解 単射、全射等を理 泉形空間の定義を理 が空間定義が理 泉形空間の基底と 泉形空間の基底と 泉形写像について理 泉形写像の表現行	Experienced	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
□ Active	Plan 3rd Quarter	諸注意: 授 of Class / C	業時に示す課題に pivision in Lea pi	こついてレボートを arning	作成すること。 ② Applicable to ③ G 9 4 総 総 を を を を を を を を を を を	を	Experienced	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
□ Active	Plan 3rd Quarter	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部 7th 線 8th 線 9th 線 10th 表 11th 行 12th ジ	業時に示す課題に pivision in Lei and Aided by IC an	こついてレボートを arning	作成すること. ② Applicable to ③ G 9 4 8 8 8 4 8 7 5	Goals 集合の定義が理解 対象を理解を理解の定義を理解が受ける。 が対空間で義が理解が受ける。 はいるではできないでは、 はいるでは、	Experienced	, さする :できる.	
□ Active	Plan 3rd Quarter	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部 7th 線 8th 線 9th 線 10th 表 11th 行 12th ジ 13th ジ	業時に示す課題に 対ivision in Lei	こついてレボートを arning	作成すること、 ② Applicable to ③ G § § ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	Goals 集合の定義が理解 対象形空間の定義を理解 が受けるといる。 を対象を理解 が受ける。 を対象が理解 が受ける。 はいて理解 ができる。 はいて理解 ができる。 はいて理解 ができる。 はいて理解 はいて理解 はいてはない。 はいないでは、 はいないない。 はいないないない。 はいないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないないない。 はいないないないない。 はいないないないない。 はいないないないない。 はいないないないないないないない。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	Experienced	, さする :できる.	
□ Active	Plan 3rd Quarter	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部 7th 線 8th 線 9th 線 10th 表 11th 行 12th ジ 13th ジ 14th ジ	業時に示す課題に 対ivision in Lei	こついてレボートを arning	作成すること、 ☑ Applicable to ☐ g ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s	Goals E合の定義が理解 E向の定義が理解 E対象形空間の定義を理解 Eが変別で変別で表が理 Eが変別でいて理 Eが多について理 Eが多にの対角化にな Eが多いでは Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、また	Experienced	, さする :できる.	
□ Active	Plan 3rd Quarter	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部 7th 線 8th 線 9th 線 10th 表 11th 行 12th ジ 13th ジ 14th ジ 15th ま	業時に示す課題に 対ivision in Lei	こついてレボートを arning	作成すること、 ☑ Applicable to ☐ g ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s	Goals 集合の定義が理解 対象形空間の定義を理解 が受けるといる。 を対象を理解 が受ける。 を対象が理解 が受ける。 はいて理解 ができる。 はいて理解 ができる。 はいて理解 ができる。 はいて理解 はいて理解 はいてはない。 はいないでは、 はいないない。 はいないないない。 はいないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないない。 はいないないないない。 はいないないないない。 はいないないないない。 はいないないないない。 はいないないないないないないない。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	Experienced	, さする :できる.	
Course 2nd Semeste r	Plan 3rd Quarter 4th Quarter	諸注意:授 of Class / C Th 1st	業時に示す課題に Sivision in Lea Si	こついてレボートを arning	作成すること、 ☑ Applicable to ☐ g ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s ☐ s	Goals E合の定義が理解 E向の定義が理解 E対象形空間の定義を理解 Eが変別で変別で表が理 Eが変別でいて理 Eが多について理 Eが多にの対角化にな Eが多いでは Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるがある。 Eがあるが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、また	Experienced	, さする :できる.	
Course 2nd Semeste r	Plan 3rd Quarter 4th Quarter	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部 7th 線 8th 線 9th 線 10th 1 11th 行 12th ジ 13th ジ 14th ジ 15th ま 16th od and We	業時に示す課題に Division in Lei Di	こついてレポートを arning :T	作成すること。 ② Applicable to ③ G g i 彩 が が が が が が が が が が が が	Goals 長合の定義が理解 自射、全射等を理 最形空間の定義を理解分空間定義が理 最形空間の基底と 最形写像について理 最形写像の表現行 可の対角化にで でヨルダン標準用 でヨルダン標準用 でヨルダン標準用 でヨルダン標準用 でヨルダン標準用 のまれてで	Experienced	, :する :できる.	
Ourse 2nd Semeste r	Plan 3rd Quarter 4th Quarter	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部 7th 線 8th 線 9th 線 10th 1 11th 行 12th ジ 13th ジ 14th ジ 15th ま 16th od and We	業時に示す課題に 対ivision in Lea Division in Lea Di	Tついてレボートを arning TT 相互評価	作成すること. ② Applicable to ③ G g g a A A A A A A A A A A A A	Goals E合の定義が理解 E向の定義が理解 E対象形空間の定義を理解 Eが変別でできる。 Eが多ででできる。 Eが多について理 Eが多にのがある。 Eが多にのがある。 Eが多にのがある。 Eが多にのができる。 Eが多にのがある。 Eが多いでは Eが多いでは Eが多いでは Eが多いでは Eが多いでは Eが多いでは Eが多いでは Eがある。 Eがある	Experienced Experienced Experienced First Content of the	できる. Total	
2nd Semeste r	Plan 3rd Quarter 4th Quarter	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部 7th 線 8th 線 9th 線 10th 1 11th 行 12th ジ 13th ジ 14th ジ 15th ま 16th od and We	業時に示す課題に 対ivision in Lei	Tついてレボートを arning CT 相互評価 0	作成すること. ② Applicable to ③ G § § § ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	Goals E合の定義が理解 E合の定義が理解 E対象形空間の定義を理解 E対象形空間の基基は Eが多空間で表現 Eが多について理 Eが多の対角化に Eジョルダン標準用 デョルダン標準用 デョルダン標準用 でヨルダン標準用 でヨルダン標準用 でヨルダン標準用 でコルダンでは Eがられていて Eがられていて Eがられている E	Experienced	できる. Total 100	
□ Active Course 2nd Semeste r Evaluat Subtotal 基礎的能力	Plan 3rd Quarter 4th Quarter tion Meth 記 30 力 0	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部 7th 線 8th 線 9th 線 10th 1 11th 行 12th ジ 13th ジ 14th ジ 15th ま 16th od and We	業時に示す課題に 対ivision in Lei	Tついてレボートを arning CT 相互評価 0	作成すること、 ② Applicable to ③ Applicable to	Goals E合の定義が理解 E合の定義が理解 E分字間の定義を理解 Eのできます。 Eのできまする Eのできます。 Eのできまする	Experienced	アできる。 Total 100 70	
2nd Semeste r	Plan 3rd Quarter 4th Quarter iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	諸注意: 授 of Class / C Th 1st ガ 2nd 集 3rd 写 4th 線 5th 写 6th 部 7th 線 8th 線 9th 線 10th 1 11th 行 12th ジ 13th ジ 14th ジ 15th ま 16th od and We	業時に示す課題に 対ivision in Lei	Tついてレボートを arning CT 相互評価 0	作成すること、 ② Applicable to ③ Applicable to ⑤ Applicable to	Goals E合の定義が理解 E合の定義が理解 E対象形空間の定義を理解 E対象形空間の基基は Eが多空間で表現 Eが多について理 Eが多の対角化に Eジョルダン標準用 デョルダン標準用 デョルダン標準用 でヨルダン標準用 でヨルダン標準用 でヨルダン標準用 でコルダンでは Eがられていて Eがられていて Eがられている E	Experienced	できる. Total 100	